

どうなる日本 どうする日本

大学・研究所に広がりつつある軍学共同について考える

2015年防衛省が「安全保障技術研究推進制度」を創設し研究課題の公募を開始するなど、「軍学共同」の動きが急速に進展しています。その背景には、政府の方針と産業界の圧力とともに、研究費という「にんじん」に食いつく（食いつかざるを得ない）研究者の実態があります。

一方で、このような動きに抵抗する運動も育っています。この運動をいかに拡げ多くの国民と連帯して「軍事化」を食い止めるかが今問われています。そのために「軍学共同」とは何なのか自分のこととして考え、議論を深めるシンポジウムを下記の要領で開催します。ふるってご参加下さい。

記

日時：2016年4月24日(日) 午後1時30分～午後5時

会場：山梨県立図書館 1階 イベントスペース 東面

(中央本線甲府駅北口から徒歩3分)

講演

井原聰氏（東京支部・東北大学名誉教授）

「軍学共同を望んでいるのは誰かーその底流にあるもの」

浜田盛久氏（神奈川支部・海洋開発研究機構）

「軍学共同の流れを押しとどめるには」

現地報告

竹内智氏（山梨支部・山梨大学教授）

「大学改革にまわりつく軍学共同の影」

資料代 一般：500円、院生・学生：300円